

## 乳幼児健診をめぐっての保健 婦と健診医の懇談会について

宮下晴夫  
山下隆義

要約： 杉並区では、4カ月児健診と、3才児健診は、集団方式で実施している。健診の質の向上を計り、健診を円滑に実施する為の一つの試みとして、保健婦と健診医の懇談会を開いた。その結果 双方の理解が深まり、また、健診後のカンファレンスが開かれるなどみるべき効果があった。

はじめに： 杉並区には、3保健所と2保健相談所があり、それぞれで 毎火曜日には4カ月児健診を、毎水曜日には3才児健診を実施している。

健診医は、杉並区小児科医会から41名、(総会員数 78名のうちの希望者)が輪番で出場している。出場回数は各々月1~2回であり 1名で20名前後の診察を行なっている。健診の流れは表1、健診の実施状況は表2にそれぞれ示した。

目的：健診の質の向上と、健診の場での保健婦と健診医の意志の疎通を計るため、両者の懇談会を開いた。

方法：第1回は、管理職も同席し、公的な集まりであった為、原則論に終始し、みるべき効果は少なかった。

そこで、第2回は「何でも話し合える雰囲気を」と、私的な集まりであることを強調し、夕食を取りながら懇談を行なった。

懇談会場は、医師会館の和室を使用した。

出席者数は、保健婦19名、健診医24名であり、午後の7時半から10時まで懇談を行なった。

結果：予想した通り、双方から具体的な感想や、建設的な意見が多数出て、今後の健診での有力な指標となった。

以下 主な発言を列挙してみる。

保健婦側より：

- ・健診の質の向上の為、双方で勉強会を開きたい。

- ・健診医によって、極端に指導内容が変わることがある。なるべく近づけてほしい。

- ・母親の前での発言は慎重にして欲しい。

例) 大きい赤ちゃんを前にして2人の健診医が顔を見合わせて大きいねと笑った。母親が保健婦の前にきてさめざめと泣いた。

- ・医師、保健婦の一言一言、ちょっとした仕草が母親にとって大変気になる場合があることを、知るべきである。

- ・母親には色々なタイプがあることを認識し、経過観察のケースなど、対応を慎重にしたい。

健診医側より：

- ・何でもフランクに話し合える場でありたい。気がついたことは遠慮なく指摘して欲しい。

- ・受診者の人数を安定し健診の流れをスムーズにして欲しい。数こなしの健診でありたくない。

- ・経過観察、要精密検査などの事後の連絡を密にして欲しい。

- ・訪問の途中、診療所に気楽に顔を出して情報の交換をして欲しい。

等々であった。今回は保健婦の発言を積極的に聞くように心掛けた。

反省と今後の方針

懇親会を開いたことにより、保健婦と健診医との関係が密になり、健診の場での意見交換がより円滑に行なわれるようになった。

また、健診後のカンファレンスが2保健所開かれるなど、以前には見られない動きが出てきた。

問題点としては、保健婦側は昼間勤務時間内での懇談を希望し、健診医側は夜間、診療が終わってからの、時間帯を希望していることである。

また、それぞれの保健所単位の懇談、テーマを決めての懇談と今後に向けての課題は多い。

これからの乳幼児保健において、保健所と地域の開業小児科医の連携は、より必要になると思われる。その為にも、このような懇談会の発展が望まれる。

表1 健診の流れ

受付→予診→測定→診察→ツ反（4カ月児）  
→検尿（3才児）

個人指導  
→ 集団指導  
心理指導（3才児）

表2 健診の実施状況（昭和62年度）

	回数	対象者数	受診者数	受診率%	有所見者
4カ月児	132	4854	4654	95.9	1400
3才児	92				

（松戸市のアンケートを当院で施行）

母の年齢

家族形態

核家族	79名（79%）
3世代	21名（21%）

～24才	0
25～29才	40名
30～34才	36名
35～	24名

夫の協力

	ある	ない
心配あり	16	63
心配なし	4	17

心配事と出生順位

	第一子	第二子	計
心配あり	43	36	79
心配なし	10	11	21

家族形態

	核家族	3世代	計
心配あり	62	17	79
心配なし	17	14	21

育児書を利用

	利用しない	時々利用する	よく利用する
心配あり	15	57	7
心配なし	6	13	2

相談相手

祖父母	6
友人	2
近所の人	3
夫	5
赤ちゃん110	1
医師	23
保健所	3
育児書	3

心配事の内容

アトピー	12
食事	8
排尿、便	7
夜泣きなど	5
身体について	2
言葉	1
しつけ	2
病気	4
保育園	1



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:杉並区では、4ヵ月児健診と、3才児健診は、集団方式で実施している。健診の質の向上を計り、健診を円滑に実施する為の一つの試みとして、保健婦と健診医の懇談会を開いた。その結果双方の理解が深まり、また、健診後のカンファレンスが開かれるなどみるべき効果があった。